

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間においては、課題意識をもって主体的に課題を解決する力や情報を整理・分析して思考したり、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現したりする力を育むことが課題です。そのため、育成を目指す資質・能力を具体的にすること、探究の過程を充実させること、探究の過程に応じて1人1台端末を効果的に活用することが大切です。

I 目標の明確化や評価の充実のポイント

育成を目指す資質・能力を明確にするためには、各学校において定める目標を、学習指導要領に定められている第1の目標と各学校の教育目標を踏まえて設定するとともに、目標を実現するにふさわしい探究課題やその解決を通してどのような生徒を育てたいのかを具体的に想定し、内容や評価規準を設定することが大切です。

総合的な学習の時間における評価規準は、次に示す点について作成することが考えられます。

【知識・技能】

※次の①～③をしている生徒の姿について示す。

- ①概念的な知識の獲得
- ②自在に活用することが可能な技能の獲得
- ③探究的な学習のよさの理解

【思考・判断・表現】

※次の①～④の過程で育成される資質・能力を生徒の姿として示す。

- ①課題の設定
- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現

【主体的に学習に取り組む態度】

※次の①～③などについて、育成される資質・能力を生徒の姿として示す。

- ①自己理解・他者理解
- ②主体性・協働性
- ③将来展望・社会参画

II 指導計画の改善のポイント

課題意識をもって主体的に課題を解決する力を育成するためには、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく探究的な学習の充実を図ることが大切です。探究の過程を充実させるためには、事前に生徒の発達や興味・関心を把握し、これまでの生徒の考えとの「ずれ」や「隔たり」を感じさせたり、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせたりするなど、学習対象との関わり方や出会わせ方などを工夫する必要があります。また、学習活動の中で生徒が学ぶであろう事柄について多面的、網羅的に予測し、意図した学習を効果的に生み出す単元の構成を工夫したり、生徒の課題意識が連続発展するような手立てを講じたりする必要があります。

例えば、「暮らしの変化と環境問題」を探究課題として設定した場合、身近な環境の変化から、地球規模での気候変動等の問題、先進国と新興国や発展途上国との考えの違いなどにまで学習活動が広がることを予測し、生徒が関わる学習対象をできるだけ幅広く探索するとともに、探究の過程で生徒の取組や思考が停滞しそうな場面、生徒の意識や活動の向かう方向等を予測し、生徒の思考を補助する手立てを明らかにしておく必要があります。

III 手立ての充実のポイント

資質・能力の育成に向けた支援を行う際には、「①課題の設定」、「②情報の収集」、「③整理・分析」、「④まとめ・表現」の過程に応じた、課題の解決に向けたICTの効果的な活用を検討することが大切です。

例えば、「整理・分析」の過程では、1人1台端末で「考えるための技法」に応じた思考ツールを活用して、自分の考えを可視化・共有化したことを基に議論する学習活動を位置付けるなど、課題の解決に向けた協働的な学びの充実につなげることが考えられます。

課題意識をもって主体的に課題を解決する力や
情報を整理・分析して思考し、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する力を育む計画の改善

<単元名>

「働くこととの関わりから、自分の生き方を考えよう」(第2学年)

<単元の目標>

職業講話や職場体験など働くことについて調べる活動を通して、働くことの意味について理解し、働くことと自分の生き方との関連について考えるとともに、学んだことを今後の生活に生かしていくことができるようにする。

【I 資質・能力の明確化】

・目標を実現するにふさわしい探究課題を設定し、その解決を通して育成する資質・能力を明確にしている。

<単元の評価規準>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①働くことの意義を様々な社会人との関わりなどから理解するとともに自分の生き方との関連に気付いている。</p> <p>②職場体験やインタビューを通して、課題解決に関わる情報を収集し、目的に合わせて論理的にまとめている。</p> <p>③働くことの意義の理解や働くこととこれからの自分の生き方との関連への気付きは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①講師による職業講話や働くことに関する資料から、自分が思い描く働くこととの違いに気付き課題を設定するとともに、課題の解決に向けた調査方法を明確にしながらかつ活動の計画を立てている。</p> <p>②職場体験、インタビュー、これまで蓄積してきたキャリア・パスポートなど、情報の収集手段や目的に応じた必要な情報を選びながら、情報を収集している。</p> <p>③情報を比較したり関連付けたりしながら、働くことの意義や自分の生き方との関連を見いだしている。</p> <p>④働くことの意義についての自分の考えと今後の自分の生き方について、表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめている。</p>	<p>①働くことと今後の自分の生き方との関連を考えると目的に向け、自分で設定した課題の価値を見いだそうとしている。</p> <p>②自分と異なる意見や考えのよさを生かしながら、よりよい課題解決に向けて協動的に取り組んでいる。</p> <p>③働くことの意義や働くことと自分の生き方との関連について気付き、今後の生活で自分がしていきたいことを見付け行動しようとしている。</p>

<単元の指導計画 (35 時間) >

学習過程	学習活動	評価規準・評価方法等	【Ⅰ 評価規準の設定】
課題の設定	<p>○働くこと（目的、やりがい、働き方など）とはどのようなことか、自分の考えを交流し、自分が思う働くことについて把握する。</p> <p>○社会科における既習事項や新聞記事等から、働くことについての問題状況を捉える。</p> <p>○講師から職業講話を聞き、働くことについての自分の考えを整理する。</p> <p>○働くことについての問題状況と自分が思い描く働くこととを比較して捉えたことから、「働くことの意義とはどのようなことか」という学習課題を設定する。</p> <p>○課題の解決に向けて、学習計画を生徒たちの対話を通して作成する。</p>	<p>[思・判・表①] [主①] 端末上のワークシート① ・働くことの意義について考えるに当たって、本単元の学習に取り組む価値や、個別の課題解決に向けた調査方法についての確認</p>	<p>・評価規準の①では、一つではない働くことの意義の理解や自分の生き方との関連への気付きなど、概念的な知識が獲得された具体的な生徒の姿を記載している。</p>
情報の収集	<p>○課題の解決に向けて、職場体験において、業務に取り組みながら、職場の人にインタビューをするなど、情報を集める。</p>	<p>[知・技②] [思・判・表②] 端末上のワークシート③ ・目的に応じた情報入手先を選択し、必要な情報を入手していることの確認</p>	<p>【Ⅱ 学習対象との出会い】</p> <p>・現段階の自身の考えを把握することで、講師の考えとのずれを感じたり学習する必要感を抱いたりできるよう学習対象との出会わせ方を工夫している。</p>
整理・分析	<p>○課題の解決に向けて、1人1台端末を活用し、集めた情報を思考ツールで「働く目的」「働きがい」等の視点で構造化するなどして整理する。</p> <p>○自分なりにまとめた働くことの意義について交流し、その妥当性について議論する。</p>	<p>[主②] 端末上の思考ツール 端末上のワークシート② ・生徒同士の関わりを通して、思考ツールで集めた情報を整理・分析している様子の確認</p>	<p>【Ⅲ 1人1台端末の活用】</p> <p>・自己の考えをより深めることができるよう、思考ツールを活用して情報を可視化・共有化している。</p>
課題の設定	<p>○課題の解決に向けて、更に必要なことを話し合う。</p> <p>○講師や職場体験で接した人などへのインタビューを通して、働くことへの思いについて聞き取る。</p> <p>○これまでの学習で捉えたことから、「自分なりに考えた働くことの意義をどのように自分の生き方に生かせようか考えよう」という新たな課題を設定する。</p>	<p>[思・判・表③] [知・技①] 端末上の思考ツール 端末上のワークシート④ ・思考ツールにおける集めた情報の分類状況やその理由の確認 ・体験したり、調査したりしたことを踏まえてまとめていることの確認</p>	<p>【Ⅱ 課題意識の連続発展】</p> <p>・これまでの学習を基に、働くことの意義を自分の生き方との関わりで捉え、今後自分がしていきたいことに意識が向かうよう、生徒の課題意識が段階的に発展するようにしている。</p>
情報の収集	<p>○課題の解決に向けてキャリア・パスポートを活用し自身の現状を捉えたり、今まで関わった人々に再度インタビューをしたりすることで、今後の生活で取り組みたいことや心掛きたいことを明確にするために必要な情報を集める。</p>	<p>[思・判・表④] [主①] 端末上のワークシート⑤ ・課題設定の理由の確認 ・個別の課題解決に向けた調査方法についての確認</p>	<p>【Ⅱ 課題意識の連続発展】</p> <p>・これまでの学習を基に、働くことの意義を自分の生き方との関わりで捉え、今後自分がしていきたいことに意識が向かうよう、生徒の課題意識が段階的に発展するようにしている。</p>
整理・分析	<p>○1人1台端末を活用して、集めた情報を思考ツールで分析し、今後自分が取り組みたいことについて整理する。</p>	<p>[知・技③] [思・判・表④] [主③] 端末上の成果のまとめ 端末上のワークシート⑥ ・個別の課題解決に向けて表現した内容や理由、自分の考え等の確認</p>	<p>【参考資料】</p> <p>「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」 (文部科学省)</p> 
まとめ・表現	<p>○学習の成果をまとめ、第1学年向け発表会（特別活動と関連）において、自分が考えた働くことの意義や働くことと関連させて今後自分がしていきたいことについて発表する。</p>		